

瀬川薬局 健康新聞 Ver・6

高血圧シリーズ6回目の今回は、**高血圧のお薬**について見てみましょう

お薬の話をする前に・・・**お薬を飲めば**、**血圧は下がってきます**。
しかしそれに安心して**減塩を怠ったり**、**運動をしなくなったり**しては何の意味もありません。**最終的な目標は薬を減らす・やめる**ことであることを忘れずに！！

高血圧の治療で使われるお薬

★アンジオテンシンII受容体拮抗薬（ARB）★

商品名：**アバプロ・オルメテック・ディオバン・プロプレス・ミカルディス**

効果：血圧を上昇させる働きをもつ物質（アンジオテンシンII）の作用を抑えて、血圧を下げます。

★アンジオテンシン変換酵素阻害薬（ACE阻害薬）★

商品名：**タナトリル・レニベース**

効果：血圧を上昇させる働きをもつ物質（アンジオテンシンII）の産生を抑えて、血圧を下げます。
ARBと似ていますが、違いは体の中でこの物質を抑える場所が異なることです。

★カルシウム拮抗薬★

商品名：**アダラート・アテレック・アムロジン・カルブロク・コニール・ニバジール・ノルバスク**

効果：血管を収縮させる原因となるカルシウムイオンが、血管に入るのを防ぐため、血管を広げて血圧を下げます

★利尿薬★

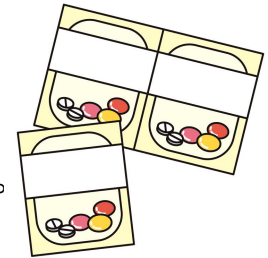
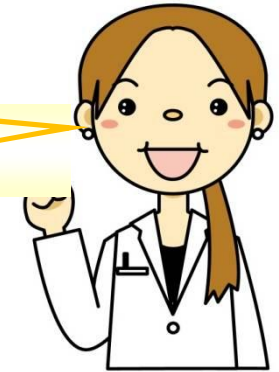
商品名：**アルダクトン・ナトリックス・ラシックス・ルプラック**

効果：体の外へナトリウムと水分を出しやすくして、体の中の水分量（体液）を減らして血圧を下げる薬です。

★交感神経遮断薬★

商品名：**インデラル・テノーミン・アーチスト**

効果：心臓に作用して、心拍数を下げたり、血管を収縮して血圧を上昇させる交感神経の働きを抑えて、全身の血圧を下げる薬です。



※上記のお薬以外にもARBと利尿薬が一緒になっている合剤も発売されています。
商品名は一部を記載しました。ご自分が飲んでいいる薬が載っていない場合は、お尋ねください。

薬を飲む時の注意事項

他の薬を飲むときには、飲み合わせに注意！！

降圧薬を飲んでいる時に、別の医師から薬を処方してもらうときには、必ず飲んでいる薬について報告してください。市販薬でも併用していいものと悪いものがありますので、注意が必要です。

降圧薬のカルシウム拮抗剤を飲んでいる場合、グレープフルーツ・グレープフルーツジュースを摂取すると薬の作用が強く現れる（血圧が下がりすぎる）ことがあるので、注意が必要です。



飲み忘れても、まとめて飲まない！！

1日1回飲む薬：飲むべき時間から数時間以内であれば、気づいたときすぐに服用しましょう。気づいたのが半日以上たった後であれば、その日に飲む分はとばして、次の日からいつもどおりの時間に1回分を飲みます。2回分をまとめて飲んではいけません。

1日2回飲む薬：飲むべき時間から3～4時間以内であれば、すぐに服用しましょう。次の服薬時間が2～3時間後にせまっているときは次回の服用からはいつもどおり1回分を飲みます。2回分をまとめて飲んではいけません。



自分の判断で中止したり、量を変えるのは危険！！

薬で血圧が下がり、「もう高血圧は治った」、あるいは「頭痛、かたこりなどの症状がなくなった」「副作用が怖いから」などの理由で薬を飲むのをやめてしまったり、ご自分の勝手な判断で日によって薬をのんだり飲まなかったり、飲む量を変えたりしてはいけません。

血圧の薬は「メガネ」のようなものです。メガネをかけているときは良く見えますが、メガネをはずすとすぐ見えなくなってしまいます。血圧の薬も同じように、飲んでいる間は血圧が下がっていても、飲むのをやめると血圧がもとに戻ってしまいます。そればかりでなく、薬をのんだり飲まなかったりする人は、脳卒中や心疾患で倒れる危険性が高くなるともいわれています。薬は必ず医師の指示どおりに服用し、副作用など不快な症状が出てきたら勝手に飲むのをやめたりせず、すぐ医師に相談しましょう。



文責：瀬川 美樹

有限会社 瀬川薬局

石川県七尾市鍛冶町50番地

TEL 53-0810 FAX 53-3557

<http://www.segawa-pharmacy.com/>